

第2回柏市保健衛生審議会健康増進部会資料 に対する事前意見（まとめ）

1 柏市健康増進計画策定に向けた市民の健康状態の評価について 【調査の方向性について】

●調査対象者個人の健康状態のみならず，環境に関する認識についても確認できると良いと思う。例えば，既存の柏市もしくは住民主体の活動やナッジ理論等を活用した看板や掲示を知っているかどうかなど。（杉本委員）

●乳幼児から思春期の生活習慣はバックグラウンドに影響されるため，生活環境もアセスメントし，かつ分析にあたっては，バイアスを考慮することが必要（加藤委員）

●様々な世代に対しての調査を行うことについて賛成。スポーツ推進委員の活動を通して，親世代はこどものことを本当によく考えていると思う。親世代の食などの生活習慣を向上させることで，こども世代の健康状態も改善するのではないか。また，こどものときに学んだことは，大人になっても活かされるのだと思うので，親世代へのアプローチの検討に活かす調査としてほしい。（和田委員）

●計画の評価と次期計画の策定に向けて，取り組みの重点ターゲットとなるこどもたちや働き盛り世代の現状や健康への意識をしっかりと把握する必要がある。次期計画にはそれらを踏まえた具体の取組が示せると良い（橘委員）

2 柏市健康増進計画と柏市食育推進計画の一体的策定について

● より多くの関係者を巻き込んでいくという点からも有意義な方向性であると感じる。（杉本委員）

● 食育と共通で実施することにより，健康寿命の延伸など健康増進への効果が期待できる。一方で，健康増進計画と食育推進基本計画では，根拠となる法律や予算の枠組みが異なることから，共通点，相互関係を明確にしたうえで，それぞれの計画に共通する項目・目標を立てることが望ましい（加藤委員）

● 部会でも意見が出ている通り，様々な部署が横連携して取り組んでいくことが重要であり，一体的策定はその一環となる（中澤委員）

● こども世代の時から食生活が大人になっても活かされる。こどもの食育を推進するためにも，両計画を一体的に策定することは良いのではないか。（和田委員）

● 健康づくり推進員は健康づくり・食育・子育て支援の3つの部会で活動に取り組んでいる。食育という観点はとても重要だが，取り組みとしては難しさがあると感じている。地域ごとの活動の中でも，レシピの配布など実施しているが，近隣センターの調理室の活用も不十分と感じることがある。一体的に策定を進めることで，「楽しみながら取り組める」ようなアイデアや取組の広がりにつながることを期待したい。（橘委員）

● 健康に重要な問題が食事にあると考える。食育推進と共に，大きな括りで「健康」へのアプローチをすることは，とても良い方向である。